



『 自 分 の 力 で 』

校長 長谷川 典雅

中国の故事に次のようなお話があります。

釣りをしている老人のところにお腹をすかせたこどもがやってきて、

「魚が欲しい」

と言いました。

しかし、老人は魚を与えることを拒み、次のように言いました。

「もし、私が魚を与えれば、お前の飢えはとりあえず満たされるだろう。
しかし、明日また同じことになる。
だから、道具を貸して、どのように魚を釣るか教えよう。
それを覚えれば、釣り道具が壊れるまで魚を食べ続けることができる。
また、釣り道具の作り方も教えよう。
そうすれば、お前は一生食べていくことができる。」



魚を与えることは手っ取り早い方法ですが、それでは、空腹になるたびに誰かから魚をもらい続けなければなりません。これに対し、少々面倒でも、釣り道具を与えて魚の釣り方を教えば、空腹になっても自分の力で魚を捕まえて食べられるようになります。目先のことを満たすことが本当に相手のためになるとは限らない、本当に相手のためになることは何かをしっかりと考えて対処することが大切だ、というお話です。

こどもに任せると「心配だから」「不安だから」「失敗しそうだから」という理由で、つい大人が先回りして、何でもやってしまうことがあります。まさに魚を与えている状況です。もちろん、場合によっては、そうせざるを得ない時もあります。

しかし、いつも先回りばかりしては、こどもはいつまで経っても自分で考えたり、行動したりできず、主体性や自主性は育ちません。こどもが困難なことに遭遇したとき、あるいは何かに立ち向かおうとしているとき、その子に応じた「釣り方」を教えていくことが大切だと考えます。

さらに、このお話をもう一步進めるならば、「釣り方を教える」だけでなく、

「釣り方を考えさせる」

ことも必要だと思います。

新しいもの（こと）が次々と生まれ、生まれては消える現代社会は急激に変化しています。昨日教えた「釣り方」は、今日には既に役に立たない、ということもあり得る事です。教えた方法が古くなる、役に立たなくなるたびに、こどもに釣り方を教えるわけにはいきません。

さて、夏休みが始まります。

こどもたちが、新しいことに挑戦したり、最後までやり遂げたりする中で、驚きや感動を味わい、素敵な思い出をつくり、充実した夏休みとなることを願っています。

令和6年9月2日（月）の始業式に、元気な姿で登校するのを待っています。

校内研究について

研究主任 千葉 愛樹

久原小学校では、令和7年度から始まる大田区の独自教科「おおたの未来づくり」の本格実施に向けて、1～2年生は生活科、3～6年生は総合的な学習の時間を中心に校内研究を進めています。地域と連携・協働して思いや願いを実現したり、課題を解決したりすることによって、よりよい地域・社会・未来を創造する力が身に付き、自己の生き方を考えることができるようになる学習を目指します。地域の皆様や保護者の皆様には多大なる御協力をいただき、ありがとうございます。今後も、こどもたちが、久が原の一員としての自覚をもち、共によりよい未来を考え、築いていけるよう引き続き、お力をお借りしたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

コミュニティ・スクールより

コミュニティ・スクール担当 沖村 翔太郎

久原小学校はコミュニティ・スクールとして、地域の方と協力しながら様々な学習や活動をしています。学校から地域に対して「〇〇についてくわしく教えてもらいたい」と依頼することもあるれば、地域の方から学校に対して「こどもたちに〇〇についてアイデアをもらいたい」といった要望をいただくこともあります。学校だけにメリットがある活動ではなく、地域にもメリットが生まれるような活動になるよう、学習内容を考えて各学年が取り組んでいます。久原小学校のホームページでは、こういった活動の様子を随時更新しておりますので、ぜひ御覧ください。

生活指導部より

生活指導部 江口 隆太

いよいよ、夏休みが近づいてまいりました。今年度は、7/20～9/1が夏休みの期間です。普段より長い休みなので、友達と遊んだり、遠くへ出かけたりする機会も多くなります。そこで、安全に過ごすためのポイントを改めてお子様と確認していただきますようよろしくお願いいたします。

安全に過ごすためのポイント

- ①交通ルールを守り、道路を渡るときは「右・左・右」を見てから、気を付けて渡りましょう。
- ②遊びに行くときには、「誰と」「どこへ」「何をしに」「いつ帰る」を家の人に必ず伝えてから出かけるようにしましょう。
- ③自分を守る合言葉「いかのおすし」を覚えておきましょう。
- ④お金を使うときは、家の人と相談してからにしましょう。

全校登校日 8月29日（木） 全学年 9：00～10：00（8：45～8：55 登校）

※上履きや筆箱など持ち物を確認して登校させてください。

※欠席の場合は、「Google forms」または電話にてお知らせください。



「夏休みドキドキ学校」への参加について

- 体調不良の際など、決して御無理をなさらないようにしてください。
- 参加日時と持ち物等をお子様と一緒に確認してください。
- 準備や後片付けも助け合い、気持ちよく活動できるよう御家庭でもお話しください。
- 当日やむを得ず欠席する場合は、講座名・学級・名前を忘れずに夏ドキ担当メール（natsudoki.pta@gmail.com）又は、夏ドキ事務局専用電話（090-8954-2229）に連絡してください。（8：30～17：00）

